

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.7.6

No. 28



企業は箕輪進修高「1期生」に注目！

求人に来られた企業の方からこんな話が出ました。「企業では、箕輪進修高校が多部制単位制に変わり、生徒がどのように変わったかに注目しています」と。

皆さんは多部・単位制の1期生であり、就職試験に際してはまさに皆さんの様子を見て各企業は本校のイメージを描くこととなります。皆さんの様子がまさに学校全体の雰囲気として拡大解釈されるのです。きちんとしたよい生徒が行くと、学校全体のイメージアップに繋がりますし、逆の場合は、本校のイメージダウンに繋がります、今後の後輩達に影響が出てきます。

つい数年前まで本校を訪れたお客さんから「大変挨拶のよく出来るよい学校だ」といっていました。ところが昨日、求人に来られたある企業の方から「校内ですれ違った生徒が誰一人挨拶をしてくれなかった」と指摘され私も愕然としました。いつの間にか変わってしまったのでしょうか？

こうした小さな積み重ねが地域からの学校全体の評価に繋がっていくのです。今は関係ないと思っても、学校全体に悪い評価が付けば、就職試験の際に自分自身のこととして降りかかってきます。1期生としての皆さんの様子はこれまで以上に地域の企業や人々から注目されていることを自覚して欲しいものです。



君は企業で求める人材たり得るか？

企業訪問をしたり、求人に来た方より、企業で求める人材とはどのようなものかお話をいただいたものをまとめてみましょう。

会社に入りルールを守れる人

健康で毎日出社できる人

年齢の離れた人ともきちんとやっていかれる人

指示待ち人間でなく自分で考え行動できる人

言われたことをきちんと出来る人

明るく元気でやる気のある人

人とのコミュニケーションがとれる人

我慢が出来、簡単にへこたれない人

出来たら運動系クラブをやっていた人

人との協調性があり共同作業が出来る人

常識のある人

人の気持ちが分かる人 等々

企業という組織に入ったときに、組織の最低限のルールが守れ、周囲の人と意思の疎通を図り、言われたことをきちんとこなしてくれる人がまず求められます。最近の若者にありがちなのはちょっと注意されるとカッとなったり、ちょっと辛いことにぶつかるとすぐにくじけがちですが、そうした人物は企業にとっても困るでしょう。こうしたところは面接や適性検査でチェックされます。

また世界的競争の激化している昨今の企業にとっては、厳しい競争に勝ち残るためにもより優秀な人材を求めています。そのためにそれなりの能力が求められます。企業の求める能力は必ずしも学校の成績とは異なりますが、最低限の基礎学力がなくては試験の突破は難しくなります。

果たしてあなたは企業の求める人材たり得ますか？！